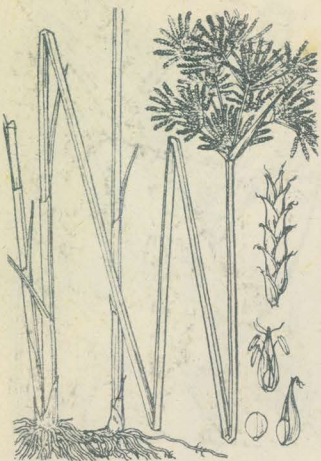


第 2458 圖

かやつりべの科



しちたう (? 荳苳)

一名 りうきうゐ

Cyperus malaccensis Lam.

我邦内地ニ在テハ田中ニ栽植セラレ又南方ノ地ニ在テハ鹹淡水相雜ナル近海ノ淺水中ニ生ズル多年生草本ニシテ泥中ニ根莖ヲ引キ、鬚根ヲ生ゼリ。葉ハ短ク披針形ヲ成シ、大部分ハ長キ葉鞘ト成リテ莖ノ下部ヲ包メリ。稈ハ直立シテ高さ1-1.5m許アリ、稍太キ三稜柱形ヲ成シ綠色ヲ呈シ眞直平滑ナリ。秋月、稈頂ニ二三片ノ綠色總苞葉ヲ出シ花穂ヨリ稍短ク劍狀ニシテ尖レリ、苞葉心ヨリ長短不同ノ繖梗數條ヲ出シ、時ニ更ニ梗上一二同級形ニ分枝シ、狹線形ノ黃褐色小穂ヲ集メ着ケ、小穂ハ長サ1-4cm許アリ小穂ヲ二列ニ生ゼリ。穎ハ長橢圓形鈍頭ニシテ淡黃褐色、背線ハ赤褐色ヲ呈ス。瘦果ハ三稜ヲ成シ橢圓形ニシテ暗色ヲ呈シ、花柱ハ三岐ス。其稈ヲ刈リ裂キテ乾シ粗ナル壘ニ製シ七島表又ハ琉球表ト云フ。和名七島ハ薩南ノ七島ヨリ其壘表多ク來リシヨリ云ヒ、又琉球ノモ其壘表多ク同地ヨリ來リシ故其草ヲ斯ク稱セシナリ。

第 2459 圖

ほもの科



たうもろこし (玉蜀黍)

一名 たうきび (同名アリ)・なんばん

Zea Mays L.

元來熱帶亞米利加ノ原産ナレドモ我邦ニハ今ヨリ約三百六十餘年前大正ノ始ニ渡來シ、今ハ廣ク培養セララル一年生ノ大草本。稈ハ單一ニシテ直立シ巨大ナル平滑綠色ノ圓柱形ヲ成シ節アリ高さ1-3m許ニ達シ、下ニ粗大ナル鬚根ヲ有シ稈ノ基部地上部ノ節ヨリモ之ヲ發出ス。葉ハ互生シ大形ニシテ狹長ナル披針形ヲ成シ反曲シテ末漸尖シ、洋紙質ニシテ上面有毛、長サ1mニ達スルコトアリ、下部ハ大ナル鞘ヲ成シテ莖ヲ抱キ無毛ナリ、又極メテ稀ニ有毛ノ者(けばかまたうもろこし var. pubivagina Makino)アリ。夏秋ノ候、稈頂ニ直立セル大形ノ圓錐花穂ヲ出シテ長サ分チ、枝上ニ各二花ヲ有スル小穂ヲ密ニ着ケテ總狀ヲ成シ、每花三雄蕊ヲ有シ穎ニ細毛アリ。雌花穂ハ稈ノ上方葉腋ニ生ジ、肥厚セル圓柱狀總狀花序ヲ成シ、多花密ニ花軸面ニ排列シ每花稃質ノ穎片ニ移ト一子房ト有シ、赤褐色ノ多數花柱ハ長楕圓形ヲ成シ花穂ヲ包メル大形膨大ノ苞頭ヨリ露出シテ垂ル。穎果ハ多數ニシテ長サ20-30cm許ニ成長セル肥厚軸面ニ密生シテ數列ヲ成シ、普通黃色ニシテ平滑ナル球形ヲ呈シ下方ハ短ク尖リ徑6mm許アリ。穀粒ヲ食用ニ供スルハ周知ノコトナリ。一變種ニハなまび (var. fragosa Makino)アリ穀粒小形ニシテ稃(はぜ)ニ作ル。又ふりたりもろこし (var. japonica A. Wood)アリ其葉ニ綠色白色ノ縱斑條アリ、和名ハ唐黍ノ意、元來唐黍即チもろこしト稱シ本種ノ名ト爲セシナリ而シテはれうもろこしきびノ略ナリ、唐ハ支那ヲ指セドモ畢竟ノ海外ノ意ナリ、唐黍ハ渡リ物ノきびノ意、南蠻ハなんばんきびノ略ニシテ往時蠻船ノ我邦ニ將來セシヲ以テテスク云フ。

第 2460 圖

ほもの科



じゅずだま (薏苳・回回米)

一名 すずご・たうむぎ

古名 つしだま・たまづし・つす

Coix Lachryma-Jobi L.

(=C. Lachryma L.; C. Lachryma L. a. Susutama Sieb.; C. Lachryma-Jobi L. var. typica Makino forma Susutama Makino; C. Lachryma-Jobi L. var. Susutama Honda.)

諸州郊外ノ水邊ニ生ズル大形ノ多年生草本ニシテ粗強ナリ。稈ハ叢生シ往々大株ヲ成シテ群生シ高さ1-1.5m許アリ、直立シテ分枝シ平滑綠色ニシテ實セリ。葉ハ互生シ細長披針形ニシテ末漸尖シ幅2.5cmニ達シ質硬脆ナル洋紙質ニシテ綠色ヲ呈シ葉緣鋸齒シ、下部ハ大ナル鞘ヲ成ス。初秋ノ候、葉腋ヨリ長短不同ノ柄ヲ有スル總狀花穂一乃至六箇許ヲ露出シ、雌性小穂ハ其基部ニ位シテ變形セル葉鞘ヨリ成ル硬質苞ニ擁セラレ、内部ニ三花アレドモ唯一花ノミ正形ヲ保チ、子房上ニハ二花柱アリテ苞外ニ超出ス。雄性花穂ハ硬質苞ヲ貫キテ其上ニ挺出シ、長サ3cm許アリテ小穂ノ各節ニ一乃至三ノ小穂ヲ有シ、二花ヨリ成リテ其一箇ハ無柄ナリ、花中ニ三雄蕊アリ。果實成熟スル時ハ此苞ハ骨質ト成リ、初メ綠色ナレドモ次第黒色ト成リ遂ニ灰白色ヲ呈シ、光滑ニシテ基ヲ硬ク卵狀球形ヲ成シ長サ9mm許アリテ先端ハ短喙ヲ呈シ、中ニ一穎果アリ。熟實ヲ採リ小兒數珠ヲ製シテ玩ビ又信仰ノ數珠トス。和名ハ數珠玉ノ意、たまハ球形ノ實ニ基ク、すずごハ數珠子、たうむぎハ唐黍ノ意ナリ、古名ハ何レモ其意不明ナレドモたまハ其圓キ實ノ形狀ニ基ケルナリ。漢名 川穀 (誤用)

はとむぎ (川穀)

一名 しこくむぎ

Coix Ma-yuen Roman.

(=C. Lachryma-Jobi L. var. Ma-yuen Stapf.; C. Lachryma-Jobi L. var. frumentacea Mak.)

往時我邦ニ渡來シ爾後諸處ノ圃中ニ栽植セララル一年生草本ニシテ敢テ野生ト成リシ者無シ、通常叢生シテ高さ1-1.5m許アリ。葉ハ互生シ細長ナル披針形ニシテ末漸尖シ質硬脆ニシテ洋紙質ヲ成シ綠色ニシテ葉緣鋸齒シ、幅2.5cm許、下部ハ著シキ鞘ヲ成ス。稈ハ粗大ニシテ直立分枝シ綠色ヲ呈シ平滑ナリ。夏秋ノ候葉腋ヨリ長短不同ノ柄アル花穂數箇ヲ露出シ、下部ノ一雌花穂ハ變形セル硬質ノ短葉鞘ニ包マレ内部ニ三花アレドモ其一花ノミ正形ヲ保チ他ハ不育ナリ、子房ニハ二花柱アリテ苞外ニ超出ス。果實成熟ノ時ハ其苞堅硬ト成リ橢圓形ヲ呈シテ長サ1.2cm許アリ、暗褐色ニシテ質薄ク破リ易シ、中ニ一穎ノ穎果アリ。雌花穂ハ雌花穂ヲ貫テ其上ニ出デ、長サ3cm許、紡錘形ヲ呈シ、總軸ノ各節ニ一乃至三小穂ヲ着ケ、各小穂ハ二花ヨリ成リ其一花ハ無柄ナリ、花中ニ三雄蕊アリ。穀ヲ通常煮苴仁(よくいんに)ト稱シテ藥用トシ又食料ニ供シ得ベシ。和名ハと麥ハ近代ノ稱呼ニシテ往時ハ此名ナシ蓋シ鳩ノ食フ麥ノ意乎、四國麥ハ周防ノ方言ニシテ多分往時四國地方ヨリ同州ニ入りテ呼バレシ稱ナラン。漢名、從來ノ本草家ハ薏苳ヲ以テしこくむぎ即ハはとむぎト爲シ川穀ヲ以テじゅずだまニ充ツドレドモ其反對ヲ以テ正トスベキナリ。

いたちがや

Pogonatherum crinitum Trin.

(=Andropogon crinitum Thunb.; P. saccharoideum Beauv.)

我邦暖地諸州ノ山足斜面地ニ多生スル多年生小草本ニシテ直立叢生シ、高さ15-30cm許アリテ株下ニ硬質ノ鬚根ヲ有ス。稈ハ瘦細ニシテ質硬ク平滑無毛ニシテ中部以上ニ於テ互生セル數枝ヲ岐ツ。葉ハ互生シ細小ニシテ狹披針形ヲ呈シ鋭尖頭ヲ有シ質薄ク下ハ瘦長ナル鞘ヲ成ス。秋、梢頭枝端ニ狹瘦ナル穗狀花穂ヲ直立シテ各ニ多數ノ小穂ヲ着ク。小穂ハ二箇相並ビテ各二花ヨリ成リ其一小穂ハ無柄他ノ一小穂ハ有柄ナリ、小穂内ノ花ハ下部ノ者ハ大抵無芒、上部ノ者ニ長芒ヲ有ス、芒ハ上穎片ヨリ出ル芒ト共ニ黃褐色ヲ呈シ花穂上ニ多ク蓬出ス。雄蕊ハ一或ハ二アリ。子房上ノ花柱ハニシテ長キ柱頭ハ羽毛狀ヲ成ス。穎果ハ細小ニシテ長橢圓形ナリ。和名帥ガヤハ其果穂ノ形色ニ基テ名ケシナリ。

うんぬけ

Eularia Tanakae Honda.

(=Pollinia Tanakae Makino.)

東海道三河尾張邊ノ原野向陽地ニ産スル大形ノ多年生草本ニシテ叢生シ高さ1m内外アリ。稈ハ粗大ニシテ直立シ圓柱形ニシテ平滑ナリ。葉ハ瘦線形ニシテ上部ハ長ク漸次ニ尖リ、下ハ長キ葉鞘ヲ成シテ稈ヲ包ミ、基部ノ鞘面ニハ黃褐色軟毛ヲ密生ス。秋月、葉ヨリ高キ稈頂ニ掌狀花序ヲ成シテ短キ總軸ヲ具ヘ四乃至八條ノ花穂ヲ有シ一方ニ傾磨シ長キシテ密ニ多數ノ小穂ヲ着ク。小穂ハ雙在シ其一ハ無柄ニシテ其一ハ有柄ナリ、狹披針形ニシテ一花ヨリ成リ、穎ニハ黃褐色ノ長毛ヲ有シ、稈ニハ濃黃褐色ノ長芒ヲ具ヘ、總苞毛ハ著シク穎ヨリ短シ。全草うんぬけもどきニ酷似スレドモ更ニ大形ナリ。本種ハ始メテ其植物ニ注意セラレシ田中芳男氏ノ名譽ノ爲メ其姓ヲ種名ト成シ其學名ヲ最初ニ予ノ發表セシモノニ係ル。和名うんぬけハ牛ノ毛ノ轉訛セルモノニシテ同地ノ方言ナリ。

第 2461 圖

ほもの科



第 2462 圖

ほもの科



第 2463 圖

ほもの科

